

# Newsletter

—学会会報—

The Japanese Society for Curriculum Studies

発行：日本カリキュラム学会事務局

## 目 次

〈理事会報告（2024 年 3 月 10 日）〉

■ 審議事項

- I 各委員会の活動について
- II 第 35 回筑波大学大会について
- III 教育課程編成の主体としての学校のあり方にかかる事案について
- IV 学会ホームページのサーバー移管について

■ 報告事項

- V 事務局報告

〈事務局からのお知らせ〉

---

## 理事会報告（2024 年 3 月 10 日）

---

出席者：石井理事、磯田理事、上地理事、上野理事、奥村理事、川地理事、唐木理事、金馬理事、黒田理事、倉本理事、子安理事、澤田理事、柴田理事、高橋理事、田村理事、中野理事、西岡理事、二宮理事、根津理事、樋口理事、松下代表理事、的場理事、森理事、吉田理事、香川大学附属高松小学校（計 25 名）

事務局：竹川事務局長、富士原理事、次橋幹事（計 3 名）

定例理事会が、2024 年 3 月 10 日（土・祝）10 時から 13 時まで、Zoom を用いたウェブ会議形式で開催された。事務局 3 名を含む 28 名（うち理事 27 名）の参加があった。

審議に先立ち、松下代表理事より、開会に関する挨拶が述べられた。

## ■ 審議事項

### I 各委員会の活動について

#### 1. 学会賞委員会

磯田委員長より、資料に基づき、優秀発表賞と研究奨励賞についての報告が行われた。

まず、優秀発表賞について、2023年度の選出経緯についての報告が行われた。2024年度優秀発表賞の審査に向けて、自由研究発表のエントリー後に常任理事の中から候補者との利益相反を避けて審査委員を決定することが確認された。

次に、研究奨励賞について、2名を選出した経緯とその結果についての報告が行われた。研究奨励賞細則において、第1段投票結果では「上位3名を」選ぶとしていたが、2023年11月4日の理事会で「上位3名を基本として」に改め、2名を候補者としたこと。また、受賞者はこれまで通例的に1名であったが、2023年度については学会賞委員以外の会員も含めた慎重な議論と第2段投票の結果、2名としたことが説明され、承認が得られた。

優秀発表賞と研究奨励賞については「共同研究者の場合は第一著者であることを条件とする」という規定の追記とその周知方法について報告が行われた。また、両賞の同時受賞については問題がないことを確認した。

#### 2. 紀要編集委員会

澤田委員長より、資料に基づき、報告が行われた。

学会紀要（第33号）投稿論文の査読について、2023年度よりオンライン投稿になったこと、そのプロセスについての報告が行われた。投稿総数12本（研究論文8本＋実践研究論文4本）中、5本を再査読とし、その内4本を採択とした。論文については印刷会社へは3月12日に入稿。論文以外の原稿はすでに入稿済み。刊行は5月中旬以降の見込みであることが報告された。

さらに、次年度は図書紹介などの原稿もオンライン化を検討中であり、ガリレオ社の見積もりを受けて次回理事会に提案予定であることが報告された。なお、理事会前に決定の必要があれば、委員会、代表理事と事務局での検討を経て決定する旨が確認された。

現在の任期に限定して、副委員長を3人体制（査読論文担当に2名、査読論文以外の担当に1名）としたいとの提案があり、承認された。また、推薦図書の執筆依頼と執筆期間の確保のために、推薦図書の依頼時期を早めたいとの意見があり、承認された。刊行後、原則的に2年以内程度の図書を推薦することも確認された。

#### 3. 国際交流委員会

倉本委員長より、資料に基づき、報告が行われた。

キャサリン・ルイス氏（WALS学会長）から『カリキュラム研究』に寄稿（和訳は岡村亮佑会員・京都大学大学院）をいただいた件について、お礼のやり取り等の報告が行われ、関係会員への謝辞が述べられた。

大会における課題研究について、2026年度までの計画のなかで、2024年度は、「授業研究とカリキュラム研究との接点探求 -国際比較研究の視点から-」としてキャサリン・ルイス氏（オンライン・通訳あり）と日本の研究者（登壇者未定）の登壇を検討中であることが報告された。

#### 4. 研究委員会

上地委員長より、資料に基づき、2024年3月16日に行われる春の研究集会と大会における2件の課題研究についての報告が行われた。

課題研究（その1）は「デジタル社会の危険性とカリキュラム（仮）」、課題研究（その2）は「多様な学びと学校の課題（仮）」の趣旨と報告者（予定）が提案された。課題研究（その1）のテーマとその報告者候補に対する意見が出され、課題研究（その1）については、報告者の再検討を早急におこなうことが確認された。

#### 5. 広報・若手育成委員会

唐木委員長より、資料に基づき、11月23日に行われた秋のセミナー、2月23日に行われた若手育成セミナーの報告と、全国大会における課題研究についての提案が行われた。

若手育成セミナーは、69名の参加があり、関心の高さがうかがえた。西岡理事より、登壇者の作成した資料も充実していたので、許可を得てアーカイブ化し、会員限定サイトにおいて公開することが可能かとの質問があり、事務局より技術的・経費的に可能であることが伝えられた。

課題研究は、「カリキュラムの『不易と流行』を語る」というテーマで継続的に実施しており、2024年度は田中統治氏（元代表理事）に打診し、承諾をいただいていることが報告された。

## II 第35回筑波大学大会について

樋口大会実行委員会委員長より、資料に基づき、進捗状況の報告と検討事項の提案が行われた。

理事会日時と大会タイムテーブル、申し込みスケジュール、参加費などが確認された。課題研究の実施日程については、国際交流委員会担当の課題研究においてオンラインで米国から登壇いただく事情をふまえて、広報・若手育成委員会担当の課題研究が1日目から2日目に移動可能か登壇者に確認した後に再調整することとなった。

※理事会後の調整の結果、課題研究のスケジュールは以下の通りとなった。

大会1日目

課題研究Ⅰ「学びの多様化と学校教育」（研究委員会担当）

課題研究Ⅱ「授業研究とカリキュラム研究との接点探求-国際比較研究の視点から-」（国際交流委員会担当）

大会2日目

課題研究Ⅲ「デジタル社会の危険性とカリキュラム」（研究委員会担当）

課題研究Ⅳ「カリキュラムの『不易と流行』を語る」（広報・若手育成委員会担当）

公開シンポジウムのみ参加者から参加費を徴収しないこと、対面のみ開催とし、オンライン配信を行わないことが確認された。なお、課題研究においては、会場とキャサリン・ルイス氏だけをオンラインでつなぐということが確認された。

乳幼児を伴う大会参加については、さまざまな困難が予想されるが、理事会としては推進の方向で検討すること、筑波大学のジェンダー支援チームや学内保育所（ゆりのき保育所）のサービスが利用できるかを確認することが確認された。また、このような支援体制については、大学によって条件は異なるものの、今年度に限定せず、次年度以降の大会においても検討をしていくことが確認された。

### Ⅲ 教育課程編成の主体としての学校のあり方にかかる事案について

議論に先立ち、松下代表理事より、ある国立大学附属学校の教育課程編成に関する案件について、本理事会で検討する理由と、今後学会としてどのような態度をとるかについて本理事会での検討を経て決めたいとの旨が説明された。

続いて川地理事より、資料に基づき問題提起が行われた。問題提起に続いて行われた議論の結果、以下のことを確認した。

- ①本事案について、学会としての声明は出さない。
- ②学校におけるカリキュラム研究を委縮させないという目的のもとでメッセージを作成し、学会メーリングリストを用いて、会員に対し、学習指導要領とカリキュラム・マネジメントのあり方について、発信する。
- ③上記の目的のもと、秋のセミナー等において学術的な検討を行うことで、学会外にも発信を行うことを計画する。

\*この検討を受けて、2024年3月19日に、日本カリキュラム学会理事会名で、「情報・論点提示：教育課程編成の主体としての学校を支援するために」を、学会メーリングリストを用いて会員あて発信した。

### Ⅳ 学会ホームページのサーバー移管について

竹川事務局長より、学会ホームページのニフティからガリレオ社のサーバーへの移管作業について目的と費用の説明がなされ、承認を得た。

## ■報告事項

### V 事務局報告

竹川事務局長より、会員現況、寄贈図書、会計（途中）について報告が行われた。

松下代表理事より、花園大学が2025年度（第36回）の大会校となることが発表された。大会実行委員長の磯田理事より挨拶が行われ、事務局長として同大学の藤井浩史氏の名前が紹介された。

---



---

## 事務局からのお知らせ

---



---

### 1. 会員現況報告（2024年2月19日時点）

■会員総数 707名（一般会員 626名、学生会員 75名、団体会員 6名）

※連絡先不明者 4名、未納退会希望者・会員一時資格停止者 32名を含む。

（2022年度：701名、2021年度：712名、2020年度：714名）

■会費納入率

2023年度：完納 579名 未納 128名 計 707名 81.8%（切り捨て）

※連絡先不明者 4名、未納退会希望者・会員一時資格停止者 32名を含む。

（2022年度：92.1%、2021年度：96.7%、2020年度：94.2%）

■新規入会者(2023年10月18日～2024年2月14日)

	入会年月日	氏名	所属	区分	推薦者
1	2023/11/04	松本 秀樹	上武大学	正会員	事務局
2	2023/12/04	荒川 文雄	棚倉町教育委員会	正会員	吉富 芳正
3	2023/12/27	大田 誠	下関市立文洋中学校	正会員	石田有記
4	2024/01/19	吉野 剛史	横浜市立東台小学校	正会員	事務局

■退会者(2023年10月18日～2024年2月14日)

	退会年月日	会員名	所属	会員種別
1	2023/11/29	田浦 宏己	学校法人峯徳学園 埼玉学園大学	正会員
2	2023/12/14	時津 啓	島根県立大学	正会員

### 2. 寄贈図書等一覧（2023年11月4日～2024年3月6日到着分）

著者名	タイトル	出版社等	発行日	受領日
グンター・ドレスラー著、三村和則訳	東ドイツ小都市ブールの総合技術授業 1958年-1989年-人格の全面発達をめざした教育の実相-	教育評論社	2023/12/8	2024/1/15
中島恒雄	最新できなかつた子(生徒)をできる子(学生)にするのが教育-私の体験的教育論-	ミネルヴァ書房	2022/5/27	2024/2/1

中島恒雄	新・二十一世紀の大学教育改革—創立者が語る東京福祉大学・大学院の挑戦—	ミネルヴァ書房	2023/3/20	2024/2/1
------	-------------------------------------	---------	-----------	----------

### 3. 会計途中報告

#### 収入の部

項目	予算額 (円)	実績 (円)
学会年会費	5,000,000	4,504,000
入会金	60,000	88,000
学会誌代・雑収入・利子等	50,000	31,517
第34回大会収入	900,000	1,089,000
寄付	0	0
前年度繰越金	12,142,694	12,142,694
合計	18,152,694	17,855,211

#### 支出の部

項目	予算額 (円)	実績 (円)
第34回大会支出	2,000,000	785,324
第32号・第33号紀要刊行費(含む発送費)	1,400,000	634,700
学会賞費 (奨励賞及び優秀発表賞)	70,000	70,000
会合費 (交通費他)	1,300,000	48,840
事務局経費	150,000	152,080
事務局外部委託費	1,600,000	338,348
財) 日本学術協力財団賛助会費	50,000	50,000
教育関連学会連絡協議会会費	10,000	10,000
各種委員会経費		
紀要編集委員会	100,000	0
国際交流委員会	100,000	108,825
研究委員会	300,000	36,173
広報・若手育成委員会	300,000	15,722
学会賞委員会	100,000	22,440
(小計)	900,000	183,160
理事・代表選挙経費	410,000	0
学会業務の委託先変更に伴う初期経費	600,000	0
投稿システムの導入経費	350,000	0
予備費	200,000	0
次年度繰越金	9,112,694	15,582,759
合計	18,152,694	17,855,211

#### 4. 令和6年度(2024年度)分会費納入のお願い

今年度分の年会費が未納の会員の方は、納入をお願い申し上げます。納入促進に、会員のみならず皆さまのご協力をよろしくお願い申し上げます。

また、前年度(2023年度)分までの年会費が未納の会員の方におかれましては、未納分の年会費の納入もあわせてお願い申し上げます。

会費納入状況につき、ご不明の点がございましたら、ご遠慮なく(株)ガリレオ・日本カリキュラム学会会員窓口までお問い合わせください。

(年会費：一般 8,000 円、学生 4,000 円、団体 10,000 円)

**【入・退会、年会費納入、会員 web 管理、会報発送等各種問い合わせ先】**

〒170-0013 東京都豊島区東池袋 2 丁目 39-2-401

(株)ガリレオ学会業務情報化センター内

TEL 03-5981-9824 FAX 03-5981-9852 ※電話受付 平日 11:00~16:00

E-mail : g050jscs-support@ml.gakkai.ne.jp

**【上記以外の学会運営に関する問い合わせ先】**

〒448-8542

愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢 1 愛知教育大学 竹川慎哉気付

日本カリキュラム学会事務局

E-mail : jscsstaff@gmail.com

**【学会ホームページ】**

URL : <https://jscs-info.jp/index.html>